

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|----------------|--------------|
| ○事業所名 | しあわせ駅 読谷 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月20日 | | ～ 2026年3月13日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 22名 (兄弟含む18世帯) | (回答者数) 22名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月20日 | | ～ 2026年3月13日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月13日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 事業所の活動プログラムが固定化されない | マンネリ化を防ぐ為に職員一同でプログラムを立案している。 | 子ども達や保護者さんの意見を反映させていく。 |
| 2 | こどもは安心感をもって通所。 | 安心感をもって通所していただく為に、子ども達とスケジュールを確認、気持ちに寄り添った支援に取り組んでいる。 | 子ども達だけでなく保護者さんにも安心してもらう為に情報を発信していく。 |
| 3 | 事業所の支援に満足。 | 上記にも繋がりますが、子ども達が楽しめ、経験できることを念頭に置きながら、支援に取り組んでいる。 | より一層、満足してもらえるように保護者さんも一緒に楽しめるような活動をしていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援。 | 職員の入れ変わりや新規児童が加わり、現場が落ち着いていなかった為、実施することができなかった。 | 年に一度しかできなかった為、保護者同士の交流が増やせるように年に2回交流会を行う。また、保護者向けのお茶会など開き、気軽に参加できる交流の場を設けていく。 |
| 2 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会。 | 公園やおでかけの際に交流することはあるが、公に機会を設けることができなかった。 | 上記と内容が類似しますが、保護者さんも地域住民も交えて活動していく。 |
| 3 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練の実施。 | 周知が不十分だった為、理解を得られていなかった。 | 事業所版とは異なる、保護者さん向けに修正し、配布していく。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | しあわせ駅 読谷 | | 公表日 | | 令和 8 年 3 月 30 日 | |
|---------|----|--|----|-----|---|-----------------|-----------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | | 各部屋ごとに勉強する部屋、遊ぶ部屋と明確化している。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | | 職員の適正に応じて、各部屋、活動に配置できるようにしている。 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | | 駐車場から施設内に入るまではスロープが設置している。また、施設内では段差がないので段差に引っかかって転倒する可能性が低い。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | | 日々の朝礼やミーティングにて連携を図り、業務の改善に努めている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | | 勉強に集中したいなどのニーズがあれば臨機応変に対応している。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | | 日々の朝礼やミーティングにて連携を図り、業務の改善に努めている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 保護者さんからのご意見を積極的に取り入れ、職員間で協議し業務の改善に努めている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 朝礼や終礼、児童送迎スタートまでなど時間を設け職員間で意見交換をし、業務につなげている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 8 | | | | 未実施の為、今後導入を検討中。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | | 本社にて定期的に研修を行っている。また、市町村からの研修案内を活用し、興味がある職員や必要性のある職員から率先して研修を受講している。 | | |
| 適切な支 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | 誰でも閲覧できるようにホームページに公表している。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | 児童の日々の変化や保護者さんの困り感など職員間で共有し、放課後等デイサービス計画を作成している。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | 会議を用いて、児童の現状と課題などの共通認識をすり合わせながら検討している。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | 作成された計画書を共有し、計画に沿った支援を活動プログラムに組み込んでいる。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | | 活動の中で児童の様子を観察し、申し送りなどの際に家庭での様子などを保護者さんから共有していただいで確認している。 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | 放課後等デイサービス計画書に設定し、活動プログラムにて提供すべき支援を行っている。 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | 会議にて活動プログラムを作成し、参加できなかった職員に関しては後日、確認してもらい活動プログラムを立案している。 | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|--|---|-----------|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | 固定化しないように、全職員に立案してもらっている。また、保護者さんからの情報などを活用し活動プログラムに反映している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | 職員が児童の特性や課題を理解し意見交換を行い情報共有し支援計画を作成している。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | | 朝礼や活動前に支援内容や支援の意図などを論理的に組み立て、職員間で確認を図っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 8 | | 帰りの送迎後や翌朝の朝礼でフィードバックをし、職員間で共有している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | 記録後に職員間で共有し振り返り、追記などを行いながら検証し改善に取り組んでいる。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | 保護者さんの新たな困り感などを相談員さんと会議を持ち、職員間で子どもの様子や進捗などを鑑みて支援の必要性を再検討を行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 8 | | ガイドラインを元に取り組みの幅を増やしている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | 自己選択ができるように時間を設け、問いをかけている。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | 最もふさわしい者が参画することができている。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 8 | | 必要に応じて情報を共有している。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | 送迎時やLINE等でこまめに情報共有を行い、全職員で把握・共有できるように書留をしている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 8 | | 必要に応じて情報を共有している。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 8 | | 必要に応じて情報を共有している。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 8 | | 町内で行われる研修時に、助言などをいただいている。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 8 | | 地域の散歩や公園の際に交流を図っている。また、夏季には事業所で祭を開催しその際に近隣の児童館などの声かけをし交流を行う | |
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | 8 | | | 今後検討していく。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | 申し送りの際に情報を共有し課題などを確認している。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 8 | | | 今後検討していく。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | 契約時に説明し、不明な点があった場合は別途で対応している。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | 担当者会議にて、支援側が最適解を家族の方とともに模索し、放課後等デイサービス提供の作成を行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | サインを頂く際に、変更した点やどのような支援になっていくかを説明をし同意を得ている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | 申し送りや電話等で保護者さんの話を聞き、必要な、支援を行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 8 | | | 現在は、年に1回保護者交流会を行っている。私用などで参加できていない保護者さんもある為、今後は保護者交流会の頻度を高め保護者さん同士の連携を促していく。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | 苦情窓口を設置している為、迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | お便りやLINEにて細かく発信している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | 個人情報を扱うのみだけロッカーの鍵を開け、流出しないように細心の注意を払っている。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | 視覚支援などを活用し、意思疎通を図っている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 8 | | 地域住民を招いた夏祭りを開催し、その際に地域住民とコミュニケーションを図っている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | 回覧板として、職員間で共有し分からない箇所に関してはその都度本社に確認し、周知を行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | 年2回以上は避難訓練を実施。実施後は、フィードバックをし実際に発生した際に対応できるように行っている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | | 契約前の見学や体験などで保護者さんにお子さんの情報を聞き、確認している。その後、職員間で共有している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | | 医師から指示を受けた保護者の指示のもと対応している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | 行事計画を作成し安全管理をし、確保されたなかで支援を行っている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | | おでかけ時に保護者さんから事前に聞いた情報を元に職員間で共有し、申し送りの際に保護者さんにフィードバックしている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | ヒヤリハット事例集も含め報告書をファイル化している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | 職員会議にて研修を行う事ができた。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | | | 該当する児童なし。 | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 しあわせ駅 読谷

公表日 年月日 令和 8 年 3 月 30 日

利用児童数 22人

回収数 100%

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|--------------------|--------------------------|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 20 | 2 | 0 | 0 | | どちらともいえないという意見があり、もっと事業所のことをSNSなどを活用し発信していきたい。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 保護者さんが不安感を抱かないようにこれからも職員配置を意識していきたい。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 20 | 2 | 0 | 0 | | どちらともいえないという意見があり、もっと事業所のことをSNSなどを活用し発信していきたい。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 心地よく過ごせるように掃除やレイアウトを意識し、今後も継続できるようにしていく。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 会議を通して統一した支援ができるように職員一同心がけていきます。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 21 | 0 | 0 | 1 | | 支援プログラムと支援内容とのズレがないように活動が考え、保護者さんなどに発信していく。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 今後もニーズや課題に合った個別支援計画の作成ができるように努めていく。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 20 | 2 | 0 | 0 | | 個別支援計画の説明を詳細に伝えるようにしていく必要性を感じたので改善していきたい。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 今後も職員一同継続できるように努めていく。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | こども達からのやりたいことや楽しめることを中心に今後も継続していく。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 20 | 1 | 0 | 1 | | 公に機会を設けることが年に一度しかない為、今後は半年に一回は設けるようにしていきたい。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 今後も真摯に対応していきたい。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 今後も真摯に対応していきたい。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 19 | 1 | 1 | 1 | | 家族支援プログラムが少ない為、機会を多く設けていきたい。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | | 職員の対応を出来る限り揃えていき、対応を改善していきたい。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | | 気軽に相談できるような雰囲気づくりをしていきたい。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | | 気持ちに寄り添った支援ができるように努めていきたい。 |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 16 | 5 | 0 | 1 | 日程合わず参加できない事がありました | 開催回数が少ないので、年2回は開催していきたい。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|---------------------------------------|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | 帰りの際に送り先の変更等、とても対応してくれている。 | 今後も対応できるように努めていきたい。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | | LINEや申し送りの際に、こまめに連絡し情報共有を行っている。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | | 申し送りやLINEなどでお知らせを保護者さんに伝えている。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 個人情報を扱うのみだけ使用し、流出しないように細心の注意を払っている。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | | 周知が完全じゃない為、保護者さんように修正版を作成し配布していく。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 年2回実施しているが必要に応じて回数の増加を検討していく。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 今後も安全に子ども達が過ごせるように努めていく。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 怪我などをした際には、LINEにて怪我の様子を写真で送り、状況説明をしている。今後も対応していきたい。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | より一層安心感を持って通所できるように職員一同努めていく。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 21 | 1 | 0 | 0 | 特性があり、楽しめない事もありますが、最近楽しかったと言う事が出来ました。 | 楽しかったという言葉を多く言ってもらえるように努めていく。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 22 | 0 | 0 | 0 | | 今後もお子さん、保護者さんの満足度を高められるよう職員一同努めていく。 |